

用語解説

本文中の※印をつけている用語の解説を記載します。

あ

◆ IoT (アイオーティー)

Internet of Things(インターネット オブシングス)の略。現実世界のさまざまなモノがインターネットとつながること。

◆ ICT (アイシーティー)

Information and Communications Technology(インフォメーション アンド コミュニケーションズ テクノロジー)の略。コンピュータや通信ネットワークなど情報処理や通信に関連する技術、産業、サービス等の総称。

◆ アジア・ユーラシアダイナミズム

経済成長が著しいアジア・ユーラシア地域が有する大きなダイナミズム(活力、力強さ)のこと。

い

◆ ESG経営 (イーエスジー)

Environment(エンバイロメント)(環境)、Social(ソーシャル)(社会)、Governance(ガバナンス)(企業統治)の略。企業経営において長期的な成長を遂げるために重要となる3つの要素のこと。

◆ 溢水 (いっすい)

川などの水があふれ出ること。堤防がないところでは「溢水」、堤防のあるところでは「越水」という。

◆ 第1次防災拠点

防災拠点とは、災害時における医療活動、支援活動などの拠点となる施設や場所のことをいい、第1次防災拠点とは、応急対策の活動体制の確立、救助・救急医療及び消火活動のための拠点となる施設や箇所のこと。

◆ エコマース

Electronic Commerce(エレクトリック コマース)の略。商品やサービスをインターネット上で売買すること。

◆ インフラツーリズム

ダムや道路などの既存の社会資本(インフラ)、建設中の現場など対象としたツアーや現場見学会のこと。

え

◆ MCグレーダー (GNSS)

Machine Control Grader(マシンコントロール グレーダー)の略で、人工衛星により建設機械(グレーダー)の位置情報を取得し、施工箇所の現地盤データ等に基づき、ブレードを自動制御できるもの。

◆ LRT (エルアールティー)

Light Rail Transit(ライト レール トランジット)の略。次世代型路面電車。小型軽量化した低床式車両の活用と都市景観に配慮した車体デザイン、低騒音など、最新技術を導入した、専用軌道上を走る交通システムのこと。

か

◆ 快適トイレ

工事現場において、男女ともに快適に使用できる仮設トイレの総称。

◆ 河川整備計画

河川整備基本方針に沿って、中期的な計画として概ね20年から30年間で実施する河川整備の目標や具体的な内容を定めるもの。本県では全10圏域あり、うち8圏域策定済み、2圏域が策定中(令和2年10月現在)

き

◆ 危機管理型水位計

河川における水位観測箇所の充実を図るための洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計のこと。洪水のおそれがある箇所をきめ細かく把握するために全国で設置が進められている。

◆ 居住誘導区域

立地適正化計画に基づき定めるもので、人口減少の中にあっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域。

◆ 希少野生動植物

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づき、国内に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物のうち、人為の影響により存続に支障を来す事情が生じていると判断される動植物のこと。

◆ 緊急輸送道路

地震などの災害直後から、避難・救助や物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保する道路のこと。

く

◆ グリーンインフラ

社会におけるさまざまな課題の解決に向け、自然環境が有する機能（生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、道路や河川などの社会資本整備を行う手法のこと。

◆ ぐんま絹遺産

県内に残る養蚕、製糸、織物、流通に関わる建造物や施設、民族芸能等を対象に、群馬県が登録した文化財等のこと。

け

◆ 景観行政団体

景観に関するまちづくりを進める基本的な計画である景観計画の策定など、地域の景観行政を推進する地方公共団体のこと。本県の景観行政団体は前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、藤岡市、富岡市、安中市、下仁田町、甘楽町、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、玉村町、板倉町の計21団体。（令和2年12月末現在）

◆ 景観誘導地域

観光地へ向かう道路等、特に良好な景観形成が必要な地域。群馬県屋外広告物条例に基づき知事が指定し、指定された地域ではそれぞれの景観特性に応じて、屋外広告物（看板等）の設置の制限や、設置する場合の高さ、大きさ、色彩などの許可基準の特例を設けることが可能となる群馬県独自の取組のこと。

◆ 建設キャリアアップシステム（CCUS）

建設業に従事する技能者の現場における就業履歴や保有資格、社会保険加入状況などを、技能者に配布するICカードに登録し、現場に配置したカードリーダーにタッチすることで、日々の仕事の履歴を蓄積できるシステムのこと。

こ

◆ 工事銘板

土木施設の建設に関わった会社名と技術者名、構造物の名称や延長、高さや幅、工期などを記載し、土木施設に掲示するプレートのこと。

◆ 洪水浸水想定区域

川の水があふれた場合に水に浸かってしまうことが想定される区域のこと。

◆ 交通系ICカード

IC（集積回路）チップが埋め込まれたカード型の乗車券のこと。代表的なものとしてSuica（スイカ）やPASMO（パスモ）がある。繰り返しチャージ（入金）可能で、電子マネーとしても利用できる。

◆ コミュニティバス

高齢者、障害者などにも利用しやすい公共交通として、低運賃、短いバス停間隔、小回りの効く小型車両、わかりやすいダイヤなどを特徴とする地域密着型のバスシステムのこと。

用語解説

本文中の※印をつけている用語の解説を記載します。

◆ コミュニティプラント

住宅団地などの一定規模の計画人口の住宅等から排出される生活排水を処理する、市町村が設置・管理する小規模な污水处理施設のこと。

さ

◆ サプライチェーン

製品の原材料、部品の調達から製造、在庫管理、配送、販売、消費までの一連の流れのこと。

し

◆ ジオパーク

「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」を組み合わせた言葉で「大地の公園」を意味する。地球活動の遺産(地層・岩石・地形・火山・断層等)の保護や、教育、観光に活かした活動を行うことを目的とし、日本ジオパーク委員会により認定される「日本ジオパーク」と、ユネスコが定める基準に基づいて認定される「ユネスコ世界ジオパーク」がある。本県においては以下の地域が日本ジオパークに登録されている。

- ・下仁田ジオパーク(下仁田町)
- ・浅間山北麓ジオパーク(嬭恋村・長野原町)

◆ 市街化区域

すでに市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。

◆ 市街化調整区域

原則、市街化を抑制すべき区域のこと。住宅地や大規模商業施設の整備などの開発行為は原則として行わず、道路や公園などの都市施設の整備も原則として行われない新たに建築物を建てることを極力抑える区域であるが、一定規模までの農林水産関連施設の建築等は可能である。都市計画区域を「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分することを「区域区分」又は「線引き」という。

◆ 指定管理者制度

地方公共団体等が指定した民間の会社や団体に、公園や文化施設などの地方公共団体等が管理している公の施設の管理を委任する制度のこと。公の施設の管理に民間のノウハウや技術力を活用することで、経費の節減等を図りつつ、住民サービスの向上を図ることなどを目的とする。

◆ シームレス

「継ぎ目のない」の意味。公共交通分野におけるシームレス化とは、乗継ぎ等の交通機関間の「継ぎ目」や、交通ターミナル内の歩行や乗降に際しての「継ぎ目」をハード・ソフト両面にわたって解消することにより、出発地から目的地までの移動を全体として円滑かつ利便性の高いものとする。

◆ 首都直下地震

東京湾北部を震源として発生すると推測されているマグニチュード7クラスの直下型地震のこと。

◆ 重要物流道路

平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が指定する物流上重要な道路輸送網のこと。

◆ 小水力発電

河川、農業用水、砂防堰堤、上下水道などで利用される水のエネルギーを利用し、発電する方法のこと。

す

◆ 水位周知河川

河川の水位が上昇した際に避難指示等を発令する判断基準となる氾濫危険水位、避難判断水位等を定め、これらの水位に到達した際にその旨の周知を行う河川のこと。

◆ 数値標高モデル(DEM)

Digital Elevation Model(デジタル標高モデル)の略。地表面を等間隔の正方形に区切り、それぞれの正方形に中心点の標高値を持たせたデータのこと。

◆ スtock効果

整備された道路、河川、ダム、下水道などの社会資本が機能することで、完成直後から継続的かつ中長期にわたって得られる、移動時間の短縮や浸水被害の防止などの効果のこと。一方、公共事業自体により、短期的に経済全体を拡大させる効果を「フロー効果」という。

◆ スマートIC（スマートインターチェンジ）

高速道路本線やサービスエリア等から乗り降りができるようにETC搭載車の利用に限定したインターチェンジのこと。

◆ スマートシティ

都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区のこと。

◆ スマートムーブ

環境省が実施している地球温暖化対策の一つで、日常生活においてマイカー中心であった移動手段を見直し、二酸化炭素の排出量を削減する取組のこと。

せ

◆ 世界の記憶

手書き原稿、書籍、地図、音楽、写真、映画等の記録遺産を対象として、世界的重要性を有する物件をユネスコが認定・登録する事業のこと。本県においては「上野三碑（高崎市）」が登録されている。

◆ 設計VE

道路、河川等の社会資本の整備にあたり、経済性を追求しつつ、利用者の求める必要な機能を確実に達成することを目的に、チーム活動により設計や計画等を検討する取組のこと。検討に当たっては、目的物の機能を低下させずにコストを低減する又は同等のコストで機能を向上させるなど、目的物の価値（機能／コスト）を高めることを原則とする。

そ

◆ Society5.0（ソサエティ・ゴーテンゼロ）

IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）等の先端技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会として、国が目指すべき未来社会のこと。

た

◆ 代替・補完路

重要物流道路の脆弱区間の代替路や災害拠点（備蓄基地・総合病院等）への補完路として、国土交通大臣が指定する道路輸送網のこと。

◆ 多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川の整備や維持管理を行うこと。

ち

◆ 地役権（ちえきけん）

ある目的にしたがって、他人の土地を自己の便益に利用する権利のこと。

◆ 調節池

河川を流れる水が溢れるおそれがある場合に、河川の水の一部を一時的に貯め、河川の水位上昇を抑えることにより水害リスクの軽減を図る施設のこと。

◆ 丁張り

設計図などに基づき、土木工事を施工する際に、掘削や盛土、構造物の位置などを現場に仮設で再現した立体的な目印のこと。

て

◆ DID（ディーアイディー）

人口が集中している地区のことで、人口密度が1km²あたり4,000人以上の地区が互いに隣接し、それらの隣接した地域の人口の合計が5,000人以上となる地区のこと。

用語解説

本文中の※印をつけている用語の解説を記載します。

◆ 低炭素道路交通システム

エネルギーの消費及び二酸化炭素排出量の少ない移動手段やそれらを構築する交通システムのこと。

◆ 低未利用地

適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間にわたり利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称。

◆ DX（デジタルトランスフォーメーション）

「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念のこと。

◆ デマンドバス

利用者の呼出しに応じて適宜ルートを変えて運行されるバスのこと。

と

◆ 道路啓開

地震等により道路が瓦礫などでふさがってしまった際に、早急に最低限の瓦礫処理を行うとともに、簡易な段差の解消などを行い、救助や物資輸送を担う緊急車両等の通行を確保すること。

◆ 都市機能誘導区域

立地適正化計画に基づき定めるもので、医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。

◆ 土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した際に住民に危害が生じるおそれがある区域のこと。土砂災害から住民の命を守るため、危険の周知や警戒避難体制の整備が行われる。（通称 イエローゾーン）

◆ 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した際に建築物が損壊し、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のこと。一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制が行われる。（通称 レッドゾーン）。

◆ 土砂災害警戒情報

気象庁による大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が更に高まったときに、市町村長の避難指示や住民の自主避難の判断を支援するため、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報のこと。都道府県と気象庁が共同で発表する。

な

◆ 南海トラフ地震

駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震のこと。

に

◆ 日本遺産

文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るため、歴史的経緯や地域風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承や風習などを踏まえ、地域に点在する、建造物や遺跡、祭りなど有形・無形のさまざまな遺産（文化財・伝統文化等）を面的に活用・発信する取組で、文化庁により認定される。なお、本県においては、絹産業における女性の活躍に焦点を当てた「かかあ天下ぐんまの絹遺産」などが認定されている。

◆ 日本風景街道

道路の沿線地域における、地域住民やNPO、市町村、道路管理者などの協働による景観・自然・歴史・文化などの地域資源を活かした、美しい景観の形成や地域活性化、観光振興に向けた取組のこと。

◆ **ノンステップバス**

乗降口の段差を解消し、乗降を容易にしたバスのこと。

◆ **バイオガス**

再生可能エネルギーであるバイオマスの一つで、有機性廃棄物（生ゴミ等）や家畜の糞尿、下水汚泥などを発酵させて得られる可燃性ガスのこと。

◆ **Park-PFI(パーク ピーエフアイ)**

公募により選定した民間事業者等が、国や地方公共団体が管理する都市公園内において、飲食店や売店等を整備し、その施設からの収益で、周辺の園路や広場などの公共部分を一体的に整備・維持管理する制度のこと。

◆ **ハザードマップ**

災害時に住民が円滑に避難できるよう、災害が起きそうな場所や想定される被害の程度、避難所等をわかりやすく表示した地図のこと。

◆ **バスロケーションシステム**

運行中の路線バスの位置情報を、バス停やスマートフォン等で閲覧や検索ができるシステムのこと。

◆ **パーソントリップ調査**

「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなど、「人の平日1日の動き」を調べる調査のこと。本県では、過去に前橋・高崎都市圏で1977年と1993年に、両毛都市圏で1989年に実施した。また、直近では、県全域と栃木県の一部（足利市）を含む地域で2015～2016年に実施した。

◆ **BOD (ビーオーディー)**

Biochemical oxygen demand (バイオケミカル オキシジェン デマンド) の略。水中の汚濁物（有機物）が微生物によって分解されるときに必要な酸素の量のこと。河川水や排水、下水などの汚濁の程度を示すもので、数値が大きいほど水が汚れていることを示す。

◆ **ビッグデータ**

ICTの進展により生成・収集・蓄積等が可能・容易になる多種多量のデータのこと。

◆ **BCP (ビーシーピー)**

Business Continuity Plan (ビジネス コンティニューイティプラン) の略。企業等が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

◆ **PTPS (ピーティーピーエス)**

Public Transportation Priority System (パブリック トランスポーテーション プライオリティー システム) (公共車両優先システム) の略。路上の車両感知器とバスに搭載している専用装置が通信を行うことにより、バス等の公共車両に対して信号機を優先的に制御し、青信号の延長や赤信号の短縮を実施するシステムのこと。

◆ **ヒートアイランド現象**

都市部の気温が郊外に比べて高くなる現象のこと。都市部は郊外に比べ、アスファルトやコンクリートに覆われた地面が多く、日射による気温の上昇が大きくなることや、産業活動や社会活動による熱の排出が多いことなどが要因とされる。

用語解説

本文中の※印をつけている用語の解説を記載します。

◆ BIM/CIM (ビム・シム)

Building / Construction Information Modeling, Management (ビルディング コンストラクション インフォメーション モデリング マネジメント) の略。計画・調査・設計段階から、3次元モデルを導入することにより、その後の施工、維持管理・更新の各段階においても3次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化をはかるもの。

ふ

◆ プッシュ型輸送

被災地からの具体的な要請を待たないで、避難所や避難者への支援を中心に必要不可欠と見込まれる物資を調達し、被災地に緊急輸送すること。

◆ フレックス工期

発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と実工事期間を合わせた期間）内で、受注者が工事の開始日と完成日を柔軟に設定できる契約方式のこと。

ほ

◆ 包括的民間委託

受託した民間事業者の創意工夫やノウハウを活用し、効率的・効果的に施設の運営や管理ができるよう、複数の関連業務や施設の管理を一体で委託すること。

ま

◆ マイ・タイムライン

台風などの接近に合わせて、いつ、何をするのかをあらかじめ時系列で整理した住民一人ひとりの防災行動計画のこと。

み

◆ みお筋

川の流れの方向に、水深の最も深い点を結んだ線のこと。

も

◆ モビリティ・マネジメント

一般の人々や組織、地域を対象に、過度な自動車利用から公共交通や自転車などを適度に使う方向に、自発的な変化を促す取組のこと。公共交通を利用することのメリット・必要性・役割などを説明するための印刷物や時刻表の配付、子どもやお年寄りを対象としたバスの乗り方教室の実施などのコミュニケーション手法を中心とした取組などがある。

や

◆ 矢羽根型路面表示

車道内において、自転車の通行位置を示すとともに、自動車の運転手に自転車が存在することを注意喚起するための路面に描かれた表示のこと。

ゆ

◆ ユニバーサルデザインタクシー

足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすいみんなにやさしい新しいタクシー車両のこと。

◆ ユネスコエコパーク

正式名を生物圏保存地域といい、自然の恵みを守り、かつ合理的かつ持続可能に利用するなど、自然と人間社会の共生を図ることを目的に、ユネスコが認定・登録する地域のこと。本県においては、以下の地域が登録されている。

- ・みなかみユネスコエコパーク (みなかみ町)
- ・志賀高原ユネスコエコパーク (中之条町、草津町、嬬恋村)

よ

◆ 要配慮者利用施設

高齢者施設や児童福祉施設、病院、幼稚園、特別支援学校など、災害時に自力避難が困難な人が利用する施設のこと。

◆ 余裕工期

出水期や支障物件の移転に要する期間などにより、工事の始期が限定される工事において、準備期間を含めた適切な工期を確保するため、発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と実工事期間を合わせた期間）内で、発注者が工事の開始日と完成日を指定する契約方式のこと。

ら

◆ ライフサイクルコスト

橋やダムなどの構造物の計画、設計から建設、維持管理、解体撤去、廃棄にかかる一連の費用のこと。

◆ ライフライン

電気・ガス・水道、通信設備、交通網など、人々が日常生活を送る上で重要な施設のこと。

◆ ラストマイル

モノやサービス、人の移動などに関する最終拠点から末端消費者や最終目的地を結ぶ区間のこと。

◆ ラムサール条約

国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物を保全することを目的とした国際条約のこと。本条約に基づき、本県では以下の湿地が国際的に重要な湿地として登録されている。

- ・尾瀬(片品村)
- ・渡良瀬遊水地(板倉町)
- ・芳ヶ平湿地群(中之条町、草津町)

り

◆ リアルデータ

個人や企業の活動や製品の稼働状況などの実世界から取得されるデータのこと。

◆ リダンダンシー

自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されていること。

◆ 立地適正化計画

都市住民の生活を支えるサービスが維持された持続可能な都市の実現に向けて、居住機能や都市機能の立地誘導を通じて、都市構造のコンパクト化を図るための計画のこと。

◆ リブランディング

既存ブランドを時代の変遷などに合わせて再構築することで、より効果的なブランドとして立ち上げること。